

[抄録様式]

<p>公益財団法人 8020 推進財団 平成 26 年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録</p>
<p>1. 事業名： 高齢者よい歯のコンクール応募者の口腔内と健康状態 8 年の統計</p>
<p>2. 申請者名： 一般社団法人厚木歯科医師会 専務理事 堀 真治</p>
<p>3. 実施組織： 一般社団法人厚木歯科医師会 会長 馬場賢輔</p>
<p>4. 事業の概要： 厚木歯科医師会では 8020 運動の一環として高齢者よい歯のコンクールを平成 5 年から開始し、H26 年度で第 21 回となる。高齢者であり 20 本以上の有歯顎を持ち、健康な方が対象である。応募者数は平均 30 名程度で応募資格は当初 70 歳以上であったが H19 年から 75 歳以上に変更した。今回は H19 年からの 75 歳以上のコンクール応募者 8 年間の合計 285 名について、応募用紙に記載されていたアンケート項目の健康状態・同居家族・地域活動の有無・身体・飲酒・喫煙・運動等の統計を算出し、比較的歯と口腔の健康状態が整った高齢者の健康状態等関連をみることで、市民に口腔衛生の重要性を示すことが可能となり歯と口腔の健康に対する重要性を再確認することができる。さらに対照群として 75 歳以上で歯牙は 10 本以下の高齢者 97 名について同じアンケート項目を記載していただき、コンクール参加者との比較対照をすることで、さらに歯と口腔の健康状態の関連、生活実態の関連を分析し、今後の高齢者歯科保健の手がかりを得ることが可能となる。</p>
<p>5. 事業の内容： 「厚木歯科医師会高齢者よい歯のコンクール」8 年間（平成 19 年～平成 26 年）の参加者 285 名、および、対照群の高齢者 97 名（現在歯数 10 歯以内、75 歳以上）計 382 名を対象とした、審査票とアンケートによる調査結果について、集計・分析を行った。対照群は厚木歯科医師会の先生に H26 年 12 月～H27 年 2 月までの来院している患者のなかで協力できる方にアンケートの記入を御願ひした。統計分析には SPSS Statistics17.0、Amos17.0 を用いた。詳細は別紙にまとめたがまとめると以下である。</p> <ul style="list-style-type: none">① 同居配偶者の有無は、各群内で有意な性差が認められた（男性＞女性）。有＞無～歯数多、より健康② コンクール参加者は対照群と比較し健康状態は良好、地域活動によく参加し、運動もしている。歯に関する講話や歯の定期健診・相談、身体の健康診断にもよく行っている。非喫煙者が多い。③ 「健康状態」－「現在歯数」－「運動習慣」－「地域活動への参加」の関連性と、「同居配偶者」の関わりがある。特に「同居配偶者」の有無は、両群のいずれにおいても「現在歯」等と関連している。
<p>6. 実施後の評価（今後の課題）：高齢者の健康の向上、健康寿命の延伸を目指すには、歯を健康な状態で保持し少しでも有することは非常に大切であることが再認識できた。また、歯の維持と全身の健康状態、精神状態、同居者の有無、配偶者の有無と密接な相互関係にあることがわかる。特に自治会の活動等社会での自分の役割の存在、同居家族特に配偶者が歯の健康に関連していることを考えると、逆に高齢者の社会参加はその審美的な欲求や清潔感の向上をもたらし、歯の維持と健康保持に係わっていると理解できる。歯を喪失した方々の健康維持に補綴の有効性が示され、結果 8020 運動に生かせると思う。</p>

